

ガバナー月信 3月

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2012-2013 Rotary International District 2760



2012-2013 年度
国際ロータリーテーマ



ガバナーメッセージ

ガバナー 千田 毅

梅の花 折りてかざせる 諸人は 今日の間は 楽しくあるべし

神司荒氏稲布

梅の花を折って髪に挿して飾っている人は、今日は一日きっと楽しく過ごせることでしょう。

“冬来たりなば 春遠からじ”

不況、デフレ、円高などと私たちを取り巻く経済環境は厳しさを増すばかりです。しかしこのことわざの様に厳しい時はそう長くは続きません。やがてきっと希望が満ちた時が来てくれます。

3月は識字率向上月間です。

日本ではあまり問題になることもなく、なじみ薄く関心を寄せにくい言葉ですが、世界では10億人の非識字者がいます。アーサー・フレデリック・セルドン（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる、を創作した人）は“真の教育とは、知識を教え込むことではなくて、その人のあらゆる部分の守備範囲を広げて、持っている潜在的な能力を引き出すことだ”と言っています。識字能力は誰もが潜在的に持っているもののなのです。

その手助けをすることこそが、今月の識字率向上月間の目標です。識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項であります。地域社会で読み書きの能力を向上させるプロジェクトを支援する月間です。どうか宜しくお願い致します。

最近日本でも外国労働者などの増加で識字教育の必要が生じてきています。大澤輝秀パストガバナーはIT化を熱心に勧めてこられました。本年度、私もガバナー月信をメール配信にいたしました。

しかし私も含め、高齢者の中にはITアレルギーが多くあります。ITが扱えなければ近代的非識字者になりかねません。インターネットや電子メールなどによってすばやく正確に情報を入手し、伝えたいことができなければ日常生活に支障をきたす事になるのです。この便利な手段を利用できずに諦めている会員は私だけでしょうか。

“IT（逢いたさ）見たさに怖さを忘れ”などと冗談を言っていないで、私も学ぶことにします。

本年度VTTの相手先は、ロータリー財団 職業研修チーム委員会の鈴木文勝委員長、福田哲三委員のご尽力でカナダのトロント（第7700地区）に決まりました。1月にサンディエゴで開催されたRI国際協議会でお会いした7700地区のガバナー テッドさんとのご縁に感謝です。医療関係のプロジェクトで相互訪問とし、カナダからも当地区に来て、研修を致します。名古屋での滞在はホームステイの予定ですので、その節はご協力下さいますようお願い申し上げます。

私の任期もあと4ヶ月となりました。悔いのないように全力で務めてまいります。今までのご助力に感謝申し上げ、今後とも宜しくお願い致します。



～識字率向上月間に寄せて～ 国際ガールズ・デーとCLE

地区識字率向上委員長 鈴木吉男

国連は、昨年 10 月 11 日を「国際ガールズ・デー」と制定した。「国際ガールズ・デー」は、世界中のより多くの人々が、女の子の状況に関心を持ち、女の子の人権を尊重するようになることを目的として制定された、いわば「世界中の女の子の未来を切り開くための日」である。

世界で読み書きができない人の 3 分の 2 は女性。女というだけで教育を受けさせてもらえなかったりするためだが、「女子児童が 1 年学校に通えば将来の家計にプラス 25% の余剰収入をもたらし、それが 2 年になると 50% に増える」と指摘されている。

貧困は女性に集中しているなかで、アフリカでは女子教育で農業の収穫高がアップしたり、HIV 感染率が抑えられたりしたケースが確認されている。生産性向上などにもつながるため、女性が教育を受け、自立することが貧困解消につながることは裏付けられている。

国連では、1960 年代から国際社会で非識字について問題視している。2001 年 12 月に「国際識字の 10 年 すべての人に教育を」をスローガンに、2003 年から 2012 年までに貧困の撲滅と男女の平等の実現のために行動を起こしてきた。

国連の識字の問題についての取り組みに合わせ、国際ロータリーも識字を最重点項目として取り組むようになり、識字能力の向上を図る目的で、1997 ～ '98 年度 RI の強調事項に指定された。さらに 1997 年 7 月の理事会で毎年 7 月を識字率向上月間と定めた。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存のプログラムを通して、識字率向上に取り組んでいく。識字率向上月間は、2006 ～ '07 年度より 3 月に変更された。

国際ロータリーは非識字を一層効率よく解決する方法がないかと、CLE という学習方法を考えた。CLE (Concentrated Language Encounter = 語学力集中研修講座) は最初、タイの学校向けに開発された教授方法で、読み書きを中心とした識字教育を目的としている。現地で教育プログラムの内容が決められるので、自分たちの文化遺産に対する理解を深めたり、さらに保健、環境その他の問題への認識を高めるのに役立っている。この基となった RI のライトハウス・プロジェクトは、オーストラリアの言語学者・ウォーカー博士 (1997 ～ '98 年度 RI 識字・計算能力向上グループ、ゼネラル・コーディネーター) の提唱するこの手法によって考えだされ、現在タイのすべての国立学校で採用されているほか、多くの発展途上国で取り入れられている。

創立 45 周年を迎え、超私の奉仕と存在意義

小牧ロータリークラブ 会長 鈴木 文勝

小牧ロータリークラブは1968年1月に創立以来45周年を迎え、名鉄犬山ホテルにて山下小牧市長および千田ガバナーほか多くのご来賓の皆さまにご臨席賜り記念式典を開催させて頂くと共に、福島県の郡山アーバンロータリークラブの皆さまをお招きして震災被災者への鎮魂と復興祈願の雅楽奉納をさせて頂きました。一昨年の未曾有の大惨事であった“東日本大震災”は、町が一瞬の内に津波にのみ込まれ、放射能汚染の危機にさらされ、その地にその地域に奉仕の為に活躍していた我々と同じ多くのロータリアンが命を亡くし、ロータリークラブそのものが存亡の危機に陥る状況下にありました。そこで思う事は、今まさに言うところの“ロータリーの存亡の危機”であり、“ロータリーの有り方”が問われていると言う事です。政治や経済が疲弊し、国や地域が衰退の様相を呈するような環境下で、まさにロータリーの理念である“超私の奉仕の実践”がそこに求められていると思います。

今年度の社会奉仕事業として、3.11の東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県立聾学校の子供達のためにFM式補聴システムの設置提供を致しました。緊急時の連絡手段として教育などに大変有効であると喜ばれております。また、地域への社会奉仕事業として昨年夏の小牧市役所新庁舎完成を記念して、新庁舎の敷地内にロータリー創始者ポール・ハリス由縁の月桂樹を植樹させて頂くと共に、社会福祉及び青少年健全育成資金を小牧市に寄付をさせて頂きました。

ロータリークラブは地域のニーズに対応した奉仕を実践し、地域に理解され信頼される団体となる活動こそが、まさに“超私の奉仕の実践”であり、“ロータリーの存在意義”であると考えています。皆さまと共にあるロータリーになるべく、頑張って参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



安城ロータリークラブ創立55周年記念例会

安城ロータリークラブ 幹事 石川 義典

安城ロータリークラブは、今年度創立55周年を迎え2月9日(土)に加藤ガバナー補佐、親クラブである岡崎ロータリークラブ荻須会長、子クラブの三河安城ロータリークラブ岡崎会長をお迎えし記念例会及び懇親会を開催いたしました。記念例会の中では55周年の記念事業の披露を磯貝実行副委員長(兼 副会長)が行いました。

一つ目は児童虐待の問題を抱える家庭の親への支援制度を設立し、刈谷児童相談センターの小野センター長に実施要綱を渡した。二つ目は東北大震災の石巻、女川町の炊き出し事業、カンボジア(シュムリアップの村)に井戸掘り事業、三つ目は安城の2つの病院の看護部長のお二人に永年勤続を顕彰いたしました。

また記念講演では、「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」の理事長で児童虐待問題に取り組んでいらっしゃる弁護士岩崎正光氏をお迎えし、どうして児童虐待が起こるのか、現在の日本の児童虐待の状況、親に対する支援のあり方などをお話いただき、今回我々の取り組みの重要性を実感させて頂きました。

その後、記念祝賀会も行い盛会かつ和やかに55周年記念例会を終えました。



2012~13 年度ロータリー財団補助金管理セミナー (次年度の為の財団セミナー)

2012~13 年度ロータリー財団委員会 委員長 深谷友尋

2010 年より改正された新しい財団プログラム FV 全世界 100 地区が選ばれ日本でも 6 地区が選ばれ試行地区としての最終年度を迎えました。例年開催されている財団セミナーより充実したセミナーになりました。

セミナー参加者は千田毅ガバナー、田中正規ガバナーエレクト、近藤雄亮ガバナーノミニーの皆様にご参加を頂き、各クラブより会長エレクト・次期幹事・次期財団委員長 82 クラブ 276 名の参加を頂きました。

セミナーでは、江崎柳節 RRFC・PDG から「財団は地区とクラブのものです」の講演をいただきました。また、次年度地区ロータリー財団委員会鈴木文勝委員長より国際協議会に出席され研鑽を深められた成果を「帰国報告」と題し発表がありましたのち、各小委員会より活動報告並びに説明をいたしました。

例年の慣習になりました、82 クラブの中で積極的に活動された 4 クラブより

事例発表を頂き、より具体的な活動に役立ちました。最後に田島好博 ARRFC・PDG より講評を頂き閉会いたしました。

参考 FV = Future Vision Plan 「未来の夢計画」

RRFC = 「ロータリー財団地域コーディネーター」

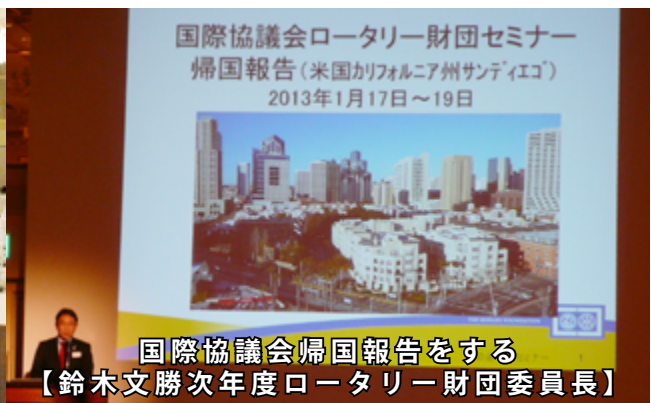
Regional Rotary Foundation Coordinator

ARRFC = 「ロータリー財団地域コーディネーター補佐」

Assistant Regional Rotary Foundation Coordinator



深谷友尋委員長による【財団報告】



国際協議会帰国報告をする
【鈴木文勝次年度ロータリー財団委員長】

文庫通信 305号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー文庫の資料より(4)

- ◎「博愛を広げるロータリーの心」 ビチャイ・ラタクル 2012 8p (D.2800 地区大会記録)
- ◎「リーダーシップの継続」 ビチャイ・ラタクル 2012 4p (D.2800 地区大会記録)
- ◎「地区研修リーダーとして」 道下俊一 2012 2p (D.2500 ガバナー月信)
- ◎「ロータリークラブが『核』となり連携を促進する地域活動～東京中央ロータリークラブの取組」 武笠和夫 2012 6p (社会教育)
- ◎「ロータリー、この素晴らしき世界」 関場慶博 2008 28p (ロータリー シェアーズ)
- ◎「ロータリーにおけるリーダーシップ」 深川純一 2008 25p (ロータリー シェアーズ)
- ◎「職業奉仕 理論と実践の徹底的分析」 田中 毅 2008 20p (ロータリー シェアーズ)
- ◎「東日本大震災復興支援 災害支援プロジェクト報告書」 D.2660 2012 142p
- ◎「国際ロータリー職業奉仕推進委員会 2011 - 12 年度年次報告」 黒田正宏 2012 138p

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F

TEL03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

東三河分区 IM報告

東三河分区 幹事 別所 淳二

テ ー マ 3・11 大震災から学ぶ
おもいやり支えあう 日本のゆくえ
日 時 平成 25 年 1 月 27 日(日) 12 時 ~ 17 時
場 所 ホテルアークリッシュ豊橋



ガバナー補佐松井昭挨拶

今回の IM は、被災高校生支援を推進するガバナーの意向と、研修に重きをおいた IM にしたいというガバナー補佐の考え方に沿って企画しました。

3・11 東日本大震災直後から、全国津々浦々から義援金やボランティア活動など、かつてないほどの湧き立つような支援の波が起りました。一時は、日本全体が助け合いの気運一色に染まった様相さえありました。

それから約 2 年経過した今、当時の盛り上がった気運は風化せず、人々の意識変革につながったのでしょうか。3・11 大震災は私達や日本の行く末に、どんな教訓や影響を与え残したのでしょうか。これが今回の IM テーマです。

12 時より受付を始め、三々五々と集まる出席者には友愛の広場で寛いで頂き、13 時点鐘、式典セレモニー。引き続き 13 時 30 分より研修会。

2 時間半の研修会の前半は、中日新聞社の小出宣昭社長による時代認識をふまえた視点からの基調講演、後半は、震災現地からの具体的な報告を交えたパネルディスカッションの二部構成の研修会でした。

パネルディスカッションは、岩手県三陸海岸を走る三陸鉄道の望月正彦社長、宮城県石巻市で地方紙を発行する三陸河北新報社の桂直之常務、そして、小出宣昭社長を加えた三人のパネラーによるディスカッションを、当クラブの安田幸雄会員がコーディネイト役を務め、IM のテーマに沿った現場報告と討論会となりました。

会場準備の休憩をはさんで、16 時より懇親会。懇親会のアトラクションでは、声楽家の李宗潤氏と田辺菜美子さんによるオペラ調の音量ある歌声で、なつかしい曲を、披露されました。

散会后、多くの参加者から好評を頂き、恐縮しながらもまずまずの出来の IM に仕上がったではなかったかと、胸をなでおろしました。

全ては、皆様のおかげと深く感謝申し上げます。



中日新聞小出社長講演



国際協議会帰国報告をする
【鈴木文勝次年度ロータリー財団委員長】

南尾張分区 I M 報告

南尾張分区 分区幹事 高木利定

テ ー マ ふれあい、思いやり、そして握手

日 時 平成25年2月9日(土) 午後1時30分～ 新入会員研修会
午後3時30分～ 式典・講演会・懇親会

場 所 名鉄グランドホテル11階 柏の間

本年度の南尾張分区インターシティミーティングは、半田ロータリークラブの主催により「ふれあい、思いやり、そして握手」のテーマのもと名鉄グランドホテルにて開催されました。

南尾張分区7クラブの267名は全員登録をいただき、和気藹々のなか楽しいIMを開催することができました。

内容としては、式典に先立ち恒例の新入会員研修会を2760地区・地区研修委員会の成田洋之副委員長を講師に迎え奉仕について学びました。

式典では杉浦三郎ガバナー補佐の点鐘の後、山内和之IM実行委員長の開会の挨拶、物故会員への黙祷、出席者紹介、半田ロータリークラブ榊原正治会長の歓迎の言葉、杉浦ガバナー補佐の挨拶と続き、後半では次期ガバナー補佐の石川勝彦君の挨拶と、次期IMホストクラブである半田南ロータリークラブの紹介と岡戸利直会長の挨拶をいただきました。皆様のご協力によりとてもスムーズな進行で予定時間よりもかなり短縮できました。

式典の後の講演会は、仙台市ラジオ放送局「f m いずみ」アナウンサーで防災キャスターも務める阿部清人氏をお招きしテーマ「東日本大震災の教訓と安全・防災エンスショー」として、大震災の被災と取材経験を通して得た震災時の教訓をラジオ放送局で防災番組を担当する防災キャスターの立場からお話をいただきました。また、サイエンスインストラクターの肩書きも持ち、防災士の資格も持っているということで防災とサイエンスの力を活かし実験やマジックを取り混ぜ地震のしくみや、災害を減らす「減災」のお話しも取り混ぜて為になる楽しいお話しを90分間休みなくご講演していただきました。

懇親会では半田ロータリークラブの松本パストガバナーの乾杯を皮切りに開催されました。新しい試みとしてアトラクションのステージをセンター正面に置くのではなく、会場のもっとも離れた両サイドにアトラクション用のステージを置き、交互に懐かしいジャズを演奏するというものでした。アトラクションステージ近い側に座っている方は懐かしいジャズ演奏に耳を傾け、離れた側に座っている方はお話しに花を咲かせることができ、とても有意義な楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ご参加戴いた会員の皆様そしてホストクラブとなって一生懸命動いて戴いた半田ロータリークラブの皆さんに感謝し報告とさせて戴きます。

ありがとうございました。



懇親会ジャズビッグバンド



式典

東尾張分区 IM報告

東尾張分区 ガバナー補佐 小原久和

テーマ 平和とは

日時 平成25年2月9日(土) 12:00～ 会食

13:30～ 式典・講演会・フォーラム

場所 名古屋マリオットアソシアホテル

2月9日(土)名古屋マリオットアソシアホテルにて2013年度の東尾張分区IMは名古屋城北ロータリークラブのホストクラブにより開催されました。当日は天気もよく、17階の会場の窓からは雪を冠った御岳もよく見えました。

11時30分に受付が始まり、多くのロータリアンが参加登録をされました。IMの目的は近隣クラブの親睦と知識を広め、奉仕の理想を勉強するためのミーティングです。友愛の広場にて親睦を美味しいフランス料理とともに深めました。久しぶりに会う方も多く、「やあ! お元気ですか。」という声も多く聞かれました。1時間ほどたっぷりと親睦を深めていただき、式典に移りました。

第1部は小原ガバナー補佐の点鐘、筒井実行委員長の開会挨拶、穂積会長の歓迎の言葉に続き招待者、参加クラブの紹介がありました。パストガバナー、パストガバナー補佐、東尾張分区は11クラブ、360名余の方の参加がありました。ガバナー補佐の挨拶では「今年度のRIのテーマは『奉仕を通じて平和』を、です。ロータリーには国法の順守が唱えられています。世界中にクラブは広がっているものの、国際間の紛争、政治にはロータリーは直接、関与できません。したがって紛争の原因であろう貧困、教育、医療などに関与、奉仕し紛争を防ぐべきであります。奉仕の先にくるのが平和であり、ロータリーの目的は平和であるとも考えられます。」と挨拶がありました。

第2部では長年、世界の平和のために尽くされてきた元国際連合事務次長、明石康様に「平和とは」というテーマで御講演をいただきました。秋田県のご出身で東大、アメリカの大学を経て日本人初の国連職員、国連の事務次長になりました。カンボジア、旧ユーゴスラビア、アフリカの紛争を実際に担当され、戦争・平和について多くを体験された方です。1時間以上にわたり熱心な御講演をいただきました。「以前の様な国と国との戦いは無くなっている。90年になり国内の紛争が多くなってきている。民族・宗教などが原因になる事が多いが、行為は一段と残虐になり、解決も難しい。離れた人の紛争よりも、隣人との紛争は、根が深く、困難である。南北戦争、スペインの内乱など多くの人が死亡している。アメリカの書店ではいまだに4割ぐらいは南北戦争の本を置いている。」など多くの国の事例を引いてお話をされました。また最近の中国との関係についても述べられました。最後に「今後の国際関係に大事なのは、お互いを尊重、信頼することであり、そして行動しなければいけない。これからの人は、異文化の理解・前向きにチャレンジ・外国語ができることが必要です。憲法改正も必要かもしれない。」と講演されました。落ち着いたしゃべり方でしたが、今までの経験からする覚悟を感じさせる雰囲気でした。質問も気楽に受けられ、ロータリーと国連との関係については、「いろいろお世話になっている。ありがとう」というような内容でした。

第3部ではフォーラムを行い「平和」についての意見を会場の皆様からいただき、司会の太田達夫会員が進行致しました。方法はある意見の賛否を配布したプログラム(紅白の裏表になっている)を掲げていただき、賛否を問い、会場の傾向がすぐ分かる方法でした。

「戦争に参加された方」は会場にはもはや数名でした。「原発を継続?」にはほぼ半々でした。これについての継続に反対の意見の方は御高齢のかたが多く、厳しい口調で意見を述べておみえでした。またいじめについての問題も提案され、多くの意見が出されていました。結論は特に出ませんでした。多くの方の意見、傾向が理解でき有意義な時間でした。

第4部では丹羽司一次期ガバナー補佐、次期ホストクラブの愛知長久手ロータリークラブ会長エレクト山田文明様の紹介があり、小原ガバナー補佐の点鐘で終了しました。

開催を受け持っていたホストクラブの穂積会長をはじめとする名古屋城北ロータリークラブの方々、実行委員長の筒井様には大変お世話になりありがとうございました。



第3部フォーラム
ロータリアンの意見交換



基調講演 『平和とは』
元国際連合事務次長 明石 康氏



小原久和 東尾張分区
ガバナー補佐挨拶

国際協議会に出席して

ガバナーエレクト 田中 正規

1月12日成田から同期のガバナーエレクトの皆さんとJALにて出発し、ロスアンジェルスに着きました。翌日バス2台でサンディエゴに入りました。素晴らしい澄みわたった青い空でした。グラントハイアットホテルの会場で1月14日午前8時30分田中作次RI会長の宣言で第1回本会議が開催されました。数千人が入る広い会場でした。参加国の紹介ではすべての国旗が次々に披露されました。さらに理事の紹介後2013-2014年度RI会長ロン・バートンさんのスピーチが続きました。まずすべての世界中のガバナーエレクト534人がRI会長エレクトの呼びかけで初の試みとして675000ドル財団に寄付したことの御礼を述べられました。そしてファーストクラスというバッチをもらいました。RIテーマはENGAGE ROTARY CHANGE LIVEです。日本語訳は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」となっています。1月18日まで計8回の本会議と多くのワークショップがありました。今回の研修で繰り返し言われたことは、ロータリーは世界に類の無いすばらしい団体であるということ。地域や世界の発展のために力を尽くせるのはロータリーしかないということでした。



一般社団法人ロータリーの友事務所より



ハイライトよねやま155

1. 寄付金速報 — 下半期は好発進 —

1月までの寄付金は、前年同期と比べて5.2%増、約4,900万円の増加です。普通寄付金が7.0%増、特別寄付金が4.2%増となりました。昨年7月からの累計額は9億9,400万円となり、過去5年間で2番目に多い寄付額となりました。会員皆様のご努力に深く感謝申し上げます。

1月は普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分を送金いただく定期寄付)の納入が主となる月です。これまでに全クラブの77%、1,752クラブから納入され、前年同期(68%、1,548クラブ)よりも早めにご送金いただいております。今後とも引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

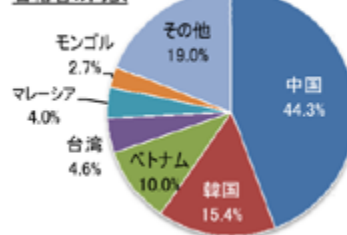
2. 新規ロータリー米山奨学生が決定!

2013 学年度・新規米山奨学生の面接選考が各地区で行われ、合格者 519 人(応募者数:1,532 人)が決定しました。奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金が 492 人、地区奨励奨学金が 10 人、クラブ支援奨学金が 10 人、海外応募者対象奨学金(個人応募)が 7 人。このほか、海外学生会推薦奨学金が現在選考中です。

また、合格者の国籍・地域別割合は、中国 44.3%、韓国 15.4%、ベトナム 10.0%、台湾 4.6% の順となっています。今年は昨年度に比べ、中国・韓国・台湾以外の国籍割合が大きく増加しました。

今後、継続奨学生の辞退などによって合格者数は変動しますが、新規奨学生および昨年度からの継続奨学生を合わせた約 700 人が、2013 学年度米山奨学生となります。

合格者の内訳



広報・雑誌 委員会の

よもやま話

No.11

地区広報・雑誌委員会

委員長：碓仲夫（豊田西） 副委員長：佐久間武美（豊橋北） 山口真（名古屋中） 池森由幸（名古屋千種）

委員：堀尾明史（尾張中央） 川澄哲裕（半田南） 城野八代江（名古屋名駅） 深石公彦（岩倉）

岡田邦義（岡崎） 松崎美都子（名古屋守山） 山川克彦（名古屋みなと）

河村嘉男＜ロータリーの友地区代表委員＞（小牧）

「これからの広報の在り方」 = facebook の次は？

2012-13 年度 10 月号に、「地区広報・雑誌委員会が運営している facebook page」、11 月号に、「facebook って？ どう使うの？」、また、2 月号に、「これからの広報の在り方 = facebook による情報のスピード化、広域化について」と題した facebook を使った地区広報委員会の取り組みについてお話ししてきました。

今回は、facebook を地区ではどのように活用しようとしているかについて書かせていただきます。

まず、一度、地区の facebook を見て下さい！

とりあえず、まず、一度、地区の facebook を見て下さい。

<https://ja-jp.facebook.com/RI.2760.PR>

ご覧いただくには、facebook に登録する必要がありますが、無料ですので一度試して下さい。そして、ご覧下さったら、「facebook ページ」そのものの「いいね」ボタンと、各記事にも「いいね」ボタンがありますので、それを押して下さい。「いいね」ボタンを押して下さったことが、このページに反映され、関係者を支援していただくことになります。

ここには、毎週、地区内各クラブから寄せられるロータリー活動の内から、公益性の高い事業を抜粋して掲載しています。各記事を提供して下さったクラブの HP にもリンクしてありますので、そのクラブの活動状況もご覧いただけます。そのクラブの活動に興味を持って下さったら、一度、そのクラブの例会に参加してみてもはいかがでしょうか？

地区内のクラブ例会情報は、地区広報委員会の HP に掲載してありますので、そちらをご覧下されば、「いつ」「どこで」例会が開催されているかを調べることができます。

<http://www.rotary2760.org/inf/>

facebook の情報が引き起こした事は？

ご存じのように、中東の民主化を引き起こした「アラブの春」が急速に広まった要因に facebook 等の SNS による情報発信が指摘されています。情報が国によって制限されている中国でも、いろいろな手段で自然発生的に情報が発信されるようになってきました。

これは、実は、facebook では、情報を発信する側だけの仕組みで動いているわけではなくて、情報を受け取りたいと思っている人の意志も反映されるところにポイントがあります。

facebook を見た人が気に入った情報源と思った facebook から、継続的にしかも自動的に自分が選択した情報を受け取ることが出来るようになってきているからです。

地区内の情報をとりまとめますので、継続的にご覧下さって、常に、どこで、どのクラブが、どんな活動をしているのか、チェックして下さい。



会員数及び出席報告（平成 25 年 1 月末）

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	1 月 出席率
		2012 年 7 月 1 日	2012 年 7/1 女性	2013 年 1 月 末 日		1 月	累計	1 月	累計		
南尾張分 区	半田	64	3	62	3	0	1	1	3	4	98.31%
	常滑	42	0	41	0	1	2	0	3	3	98.20%
	東海	49	2	51	2	0	5	0	3	4	97.55%
	東知多	21	1	21	1	0	1	0	1	4	79.35%
	半田南	39	1	37	1	0	0	0	2	4	97.22%
	知多	24	0	26	1	0	3	1	1	3	85.21%
	大府	16	1	19	2	0	3	0	0	4	70.21%
	7RC	255	8	257	10	1	15	2	13		89.44%
西尾張分 区	一宮	90	0	88	0	0	4	1	6	4	97.67%
	津島	70	4	71	4	0	1	0	0	4	96.28%
	尾西	22	1	21	1	0	1	0	2	3	96.83%
	一宮北	40	2	39	2	0	0	0	1	3	95.02%
	稲沢	57	0	57	0	0	2	0	2	4	95.22%
	あま	77	1	78	1	0	1	0	0	3	98.58%
	名古屋清須	31	0	30	0	0	0	0	1	4	98.96%
	尾張中央	34	0	33	0	1	1	1	2	4	92.51%
	一宮中央	48	7	44	8	0	1	0	5	4	95.46%
	9RC	469	15	461	16	1	11	2	19		96.28%
東尾張分 区	瀬戸	60	3	61	5	2	6	1	5	4	95.87%
	犬山	60	1	61	1	1	3	0	2	3	100.00%
	江南	46	1	48	1	1	3	0	1	4	95.33%
	小牧	32	2	30	2	0	0	0	2	4	93.89%
	春日井	52	3	53	3	1	3	0	2	3	97.48%
	尾張旭	26	1	28	1	0	3	0	1	3	96.43%
	名古屋空港	57	3	58	3	0	1	0	0	3	96.92%
	瀬戸北	68	7	71	7	1	3	0	0	4	100.00%
	岩倉	17	2	17	2	0	0	0	0	4	85.29%
西名古屋分 区	名古屋城北	32	3	31	4	0	2	0	3	4	100.00%
	愛知長久手	20	4	22	5	0	2	0	0	3	93.65%
	11RC	470	30	480	34	6	26	1	16		95.90%
	名古屋	184	0	187	0	4	12	1	9	4	87.82%
	名古屋西	93	0	99	0	0	8	0	2	4	87.13%
	名古屋南	114	0	120	0	1	9	0	3	4	95.00%
	名古屋みなと	68	0	68	0	0	2	0	2	3	100.00%
	名古屋東南	80	9	82	9	2	3	0	1	4	89.01%
	名古屋中	137	0	137	0	1	5	0	5	3	96.53%
西名古屋分 区	名古屋瑞穂	63	0	64	0	0	2	0	1	4	96.30%
	名古屋大須	61	6	64	7	1	4	0	1	4	84.26%
	名古屋栄	76	0	83	0	1	9	0	2	3	91.91%
	名古屋名南	59	7	55	7	0	0	0	4	4	92.00%
	名古屋名駅	84	8	87	8	0	5	0	2	4	97.08%
	名古屋丸の内	45	4	43	3	1	1	0	3	3	95.04%
	中部名古屋みらい	28	8	28	8	0	0	0	0	3	70.37%
	13RC	1,092	42	1,117	42	11	60	1	35		90.96%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	1 月 出席率
		2012 年 7 月 1 日	2012 年 7/1 女性	2013 年 1 月 末 日		1 月	累計	1 月	累計		
東名古屋分 区	名古屋北	85	0	93	0	1	11	0	3	2	95.62%
	名古屋東	87	0	83	0	0	2	0	6	3	85.86%
	名古屋守山	48	2	49	2	0	2	0	1	4	95.59%
	名古屋和合	104	0	104	0	0	3	0	3	4	90.58%
	名古屋名東	59	7	60	7	0	1	0	0	4	93.25%
	名古屋名北	39	4	37	4	0	0	0	2	4	97.80%
	名古屋千種	39	3	37	3	0	1	0	3	4	94.52%
	名古屋昭和	50	0	50	0	1	2	0	2	3	81.51%
	名古屋錦	32	8	33	9	1	2	0	1	4	80.89%
東三河分 区	名古屋東山	32	3	34	4	0	2	0	0	4	92.65%
	名古屋葵	25	0	24	0	0	0	0	1	4	57.29%
	11RC	600	27	604	29	3	26	0	22		87.78%
	豊橋	119	3	121	3	0	3	0	1	4	93.54%
	蒲郡	58	0	58	0	1	3	0	3	3	90.44%
	豊橋北	83	4	80	4	0	0	1	3	4	96.59%
	豊川	71	1	70	1	1	1	0	2	4	96.54%
	田原	45	1	45	1	0	1	0	1	4	97.68%
	豊橋南	59	0	59	0	0	0	0	0	3	97.47%
西三河分 区	新城	47	1	46	1	0	0	0	1	4	85.44%
	渥美	30	0	33	0	1	3	0	0	4	87.90%
	奥三河	15	3	15	3	0	0	0	0	4	91.07%
	豊川宝飯	57	3	58	3	1	1	0	0	4	95.62%
	豊橋ゴールデン	61	0	65	0	0	4	0	0	4	96.17%
	田原パシフィック	53	2	53	2	0	1	0	1	5	95.42%
	豊橋東	40	0	42	0	0	2	0	0	4	91.55%
	13RC	738	18	745	18	4	19	1	12		93.49%
西三河分 区	岡崎	89	2	89	3	2	5	1	5	4	100%
	豊田	80	0	83	0	0	6	1	3	4	99.05%
	岡崎南	91	2	95	2	0	4	0	0	4	98.90%
	豊田西	99	0	99	0	0	2	0	2	3	94.09%
	岡崎東	62	0	62	0	0	1	0	1	4	94.86%
	豊田東	74	0	72	0	0	2	0	4	4	92.01%
	岡崎城南	69	0	71	0	0	2	0	0	3	96.42%
	豊田三好	19	0	21	0	1	4	1	2	3	81.55%
	豊田中	43	6	44	6	1	2	0	1	4	92.26%
西三河分 区	9RC	626	10	636	11	4	28	3	18		94.35%
	刈谷	91	4	93	4	1	4	0	2	3	100%
	安城	58	3	59	4	0	1	0	0	3	89.54%
	西尾	73	2	75	2	0	3	0	1	4	96.50%
	碧南	68	3	66	3	0	2	0	4	4	99.60%
	一色	32	0	30	0	0	2	0	4	4	100%
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	4	100%
	知立	62	0	62	0	0	2	0	2	4	100%
	西尾 KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	0	3	100%
西三河分 区	三河安城	66	6	65	6	0	0	0	1	4	95.34%
	9RC	542	20	542	21	1	14	0	14		97.89%

	クラブ	平均
平均出席率	82	93.26%

地区内クラブ数 82RC	2012 年 7 月 1 日会員数	4,792 名 内女性 170 名	増加会員数（累計）	199 名
	2013 年 1 月末会員数	4,842 名 内女性 181 名	減少会員数（累計）	149 名
	当月平均出席率	93.26%	差引純増会員数（累計）	50 名

1 月	入会	退会	純 増
	31 名	10 名	21 名